

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	8	1	基本事務事業名	狂犬病予防事業	事務事業名	狂犬病予防事業	公的関与	1	シート作成日	平成27年6月25日		
	部局名	市民部		課名	環境衛生課	主務課長名	林 英司	シート作成者名	藤山 理人				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託		
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(1) 保健・医療の充実			<input type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input type="checkbox"/> 期間設定なし		
		主要施策		(5) 精神保健・感染症対策の推進			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		狂犬病予防事業		
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		犬の飼い主									
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	現在の飼い犬の登録・移動・死亡・狂犬病予防対策の円滑な実施を目的とします。								
				今年度	現在の飼い犬の登録・移動・死亡・狂犬病予防対策の円滑な実施を目的とします。								
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 犬の新規登録												
	② 犬の死亡・移動												
	③ 犬の狂犬病予防注射の実施												
	④												
	⑤												
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標			
	接種率	注射実施頭数/登録頭数		%	目標		100	100	100				
					実績		52.8	54					
	予防注射の広報啓発	接種率の向上		回	目標		2	2	2				
					実績		2	2					
						目標							
					実績								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	5 環境衛生費		
			平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考							
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円						
		県支出金	92 千円		92 千円		0 千円						
		地方債	千円		千円		千円						
		その他特定財源	1,055 千円		1,259 千円		1,204 千円						
		一般財源	千円		千円		千円						
		計(A)	1,147 千円		1,351 千円		1,204 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	2,941 千円	0.500 人	2,887 千円	0.000 人	0 千円					
		臨時・嘱託職種											
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		4,088 千円		4,238 千円		1,204 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	狂犬病予防法施行規則で定められているので必要です。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	狂犬病予防法施行規則で定められています。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	予防注射接種接種率については、前年度に比べて少しであるが減少しています。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	狂犬病予防法施行規則で定められているので他の実施主体等の制度は活用できません。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない		<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	未登録の犬がいるので、登録し予防接種を受けてもらいます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	全飼い主に広報等で周知し、狂犬病予防接種100%を目指します。					未登録犬の把握に努め、飼い主の意識を高めるよう、広報手段等の工夫が必要です。						
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	8	—	2	基本事務事業名	墓地管理事業	事務事業名	墓地管理事業	公的関与	1	シート作成日	平成27年6月26日			
	部局名	市民部			課名	環境衛生課		主務課長名	林 英司		シート作成者名	古谷 昌寛			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input checked="" type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(4) 廃棄物処理等環境衛生対策の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(5) 市営墓地の適正管理				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		墓地埋葬法、阿波市墓地設置及び管理条例			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市営墓地											
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	市営墓地の適正管理を図ります。										
				今年度											
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 市営墓地の使用許可申請に基づき、現地確認後に許可証の交付														
	② 改葬許可申請に基づき許可証の交付														
	③ 市営墓地の維持管理														
	④ 墓地・納骨堂及び火葬場の経営許可														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内容 の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標					
			管理のため指標設定は馴染まない。			目標									
						実績									
						目標									
						実績									
						目標									
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	4 衛生費		項	1 保健衛生費		目	5 環境衛生費	
			平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金		千円	千円	千円	崩落等により、民地との境界線部 において墓地擁壁工事を実施予 定。(H27)								
		県支出金		千円	千円	千円									
		地方債		千円	千円	千円									
		その他特定財源	1,288	千円	千円	千円									
		一般財源	1,337	千円	2,055	千円								3,358	千円
	計(A)	2,625	千円	2,055	千円	3,358	千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.560	人	3,294	千円	0.700	人	4,042	千円	0.700	人	4,066	千円	
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円		
全体事業費(A+B)			5,919	千円	6,097	千円	7,424	千円							

		チェック項目				一次評価		一次評価の説明		二次評価	
						少ない	大きい			少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。				<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	市営墓地に対する市民のニーズは増えており、有効な管理運営が求められています。		<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある			<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。				<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない			<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない			<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	市内には街中から山間部に至るまで171箇所もの墓地が点在している。そのため、全体を把握した上で整備の優先順位を付けていくことも必要です。		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない			<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる			<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。				<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	現状、維持管理のみにとどまっています。		<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。				<input type="radio"/> あまり上がっていない			<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。				<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している			<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。				<input type="radio"/> 十分達成している			<input type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。				<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	社会情勢等による墓の無縁化が墓地行政の課題である。将来は、各町に有料墓地(管理料徴収方式)の整備を検討していく必要があります。		<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。				<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない			<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。				<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない			<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 3	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 3	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	
	当面の課題	市営墓地(有料・無料)の墓床の数も少なくなっており、墓地の有効的な活用及び管理運営が急務となっています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	必要に応じて、無縁墳墓の改葬あるいは有料墓地の造成を検討していきます。					古く受け継がれ、個所数多く、墓地の維持管理は難しいが、概要の把握に努め、住民の意向を把握しながら適正な対応を行ってください。				
	委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	8	—	3	基本事務事業名	公共施設動物死体処理事務	事務事業名	公共施設動物死体処理事務	公的関与	1	シート作成日	平成27年6月25日			
	部局名	市民部		課名	環境衛生課		主務課長名	林 英司		シート作成者名	藤山 理人				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(4) 廃棄物処理等環境衛生対策の充実				<input type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(1) ごみ収集・処理体制の充実				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		道路等の動物の死体											
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	道路等の動物の死体を収集し、処分をすることにより快適な生活環境を確保します。										
				今年度	道路等の動物の死体を収集し、処分をすることにより快適な生活環境を確保します。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 動物の死体の収集運搬														
	② 動物の死体の処分														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標					
	処理件数(実績値)				件	目標									
						実績	408	342							
						目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	5	環境衛生費
			平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円				
		県支出金	6,287		千円	5,050		千円	6,532		千円				
		地方債			千円			千円			千円				
		その他特定財源			千円			千円			千円				
		一般財源	4,536		千円	4,666		千円	4,692		千円				
		計(A)	10,823		千円	9,716		千円	11,224		千円				
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	588		千円	0.100 人	577		千円	0.100 人	581		千円	
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0		千円	0.000 人	0		千円	0.000 人	0		千円		
全体事業費(A+B)		11,411		千円	10,293		千円	11,805		千円					

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	動物死体の処理は、保健衛生上からも早急に回収する必要があります。			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	動物死体は、不衛生で極めて見苦しいため、市民にとっては早急に除去を願うものであります。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	動物を飼養する市民も増え、脱走等による事故死も増えている中、市民の通報に遅滞なく対応できています。			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している				<input type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	業者委託により事業を実施し、迅速な対応をしています。			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない				<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	市民からの通報がない場合、迅速に対応ができません。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	動物の死骸処理は、早急に回収する必要があるため、業者委託により迅速に行います。					動物の死骸処理は、早急に回収する必要があるため、業者委託により迅速に行います。						
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	8	—	4	基本事務事業名	地球温暖化事務	事務事業名	地球温暖化事務	公的関与	1	シート作成日	平成27年6月26日			
	部局名	市民部		課名	環境衛生課		主務課長名	林英司		シート作成者名	兼中豊久				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1)環境の保全と創造				<input type="radio"/> 1 該当		平成 20 年 ~ 平成 26 年		<input type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(1)地域環境総合計画(環境基本計画)の策定				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		地球温暖化の推進に関する法律第20条の3			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		省エネ法「特定事業者」及び温対法の「特定排出者」である阿波市は、事業の対象者として毎年度排出量の調査の結果を国・県に報告すると共に、市は低炭素型社会に向けて地球温暖化対策の推進に取り組みます。											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	行政職員の率先行動により二酸化炭素ガスの排出量を基本年度に対して2.1%削減し、経費の節減等地球温暖化対策の推進を図ります。										
				今年度	現段階では平成27年度(平成26年度実績)調査中である。調査及び分析の結果、各施設の課題に職員が率先して取り組み本市の実行計画達成に取り組んでいきます。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 各施設の職員はソフト的取組実施を必須項目として設定しCO2の削減に取り組みます。														
	② 市は、今後の建設計画や設備更新計画に新エネ・省エネ機器の導入を検討します。														
	③ 担当は調査分析の結果を掲示し、関係施設は課題事項に積極的に取り組みます。														
	④ 調査結果を公表し、市民に対し施設利用節電、節水の意識啓発を図ります。														
	⑤ 住宅用太陽光発電設置の補助金交付を実施します。														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標					
	温室効果ガス削減目標		温室効果ガス排出量		1	目標	4,108	4,090	4090	4090					
						実績	4,003	3,934							
						目標									
						実績									
						目標									
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	5	環境衛生費
			平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金		千円	千円	千円									
		県支出金		千円	千円	千円									
		地方債		千円	千円	千円									
		その他特定財源		千円	千円	千円									
		一般財源		3,036 千円	3,900 千円	3,781 千円									
		計(A)		3,036 千円	3,900 千円	3,781 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)			3,036 千円	3,900 千円	3,781 千円										

CHECK		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	○ 少ない	● 大きい	調査は国・県への報告が法律で定められており、実行計画の策定は必要です。類似施策がなく毎年度必要です。又、市民向け個人住宅用太陽光発電システムの補助金はニーズは高いと思います。	○ 少ない	● 大きい		
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	● 大きい							○ 少ない	● 大きい		
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	● ある					○ ない		● ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	● ない					○ ある		● ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	● いない					○ いる	● いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる					全公共施設の調査は作業が負担です。マンネリ化はあるが本市の調査は各施設の分析を行っており、各課が課題に取り組むには有効です。また市民への住宅用太陽光発電システム補助は、低炭素型社会を目指す地球温暖化対策に有効です。	○ いえない	● いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	● いえない	○ いえる						○ いえない	● いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	● しない						○ する	● しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	● できる						○ できない	● できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている					調査報告の平成26年度実績は現在調査中です。が、削減目標設定に対する進捗状況は劣ると予想する。理由は計画時と現状の国内の電力不足の状況が大きく変わった事で、毎年度変動するエネルギー排出量の計算係数が高くなったため自治体も懸念しています。	○ 目標に比べて劣っている					
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない						○ あまり上がっていない					
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	● 概ね達成している						● 概ね達成している					
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している						○ 十分達成している					
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当				全庁各課施設の調査分析を職員一人で行うことは負担が大きいが、調査の報告のみに見直すなどコストを下げることはできる。但し課題分析は難しく各施設の現状取り組みが低下すると考える。太陽光補助金については市単独予算の範囲で多くの方に提供する為の見直しは必要かとも考えます。	○ 高い	● 適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない					● できる	○ できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	● ない					○ ある	● ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない					○ ある	● ない				
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 3	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A		
	今後の方向性	○ 拡大・充実 ○ 縮小	● 現状維持 ○ 統合/終期設定	○ 方法改善 ○ 廃止/休止	○ 民間委託等		○ 拡大・充実 ○ 縮小	● 現状維持 ○ 統合/終期設定	○ 方法改善 ○ 廃止/休止	○ 民間委託等			
	当面の課題	温室効果ガスの換算に用いる電力排出係数は、毎年度変動しますが東日本大震災後、本年度は当初実行計画時に比べ格段に上がった事で排出量の数値が上がった。阿波市でも削減目標の2.1%進捗状況がかなり劣った。この状況を改善する方法は、更なる節電対策しかないがその方法は厳しいです。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	今年度は阿波市実行計画の見直しがあり、新たに削減目標を設定する予定である。市としては公用車、電気等の省エネ機器を採用する等根本的な温暖化対策を推進し将来の削減目標を立てていくべきだと思います。					地道な作業ですが、将来の受け継ぐ重要な問題であり、地球温暖化対策の必要性等、職員の意識高揚に尚努めて下さい。						
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	8	—	5	基本事務事業名	飲料水供給施設	事務事業名	飲料水供給事務	公的関与	1	シート作成日	平成27年6月29日			
	部局名	市民部		課名	環境衛生課		主務課長名	林 英司		シート作成者名	古谷 昌寛				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input checked="" type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)水道の整備				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(2)安心・快適な給水の確保				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		水道法、阿波市飲料水供給施設の設置等に関する条例			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		飲料水供給施設(5箇所)											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	安全でおいしい水を安定供給していかなければならないため、最終的には上水道への統合を目指します。										
				今年度	うち4箇所は施設の老朽化が進んでおり、維持管理を徹底します。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 施設の管理														
	② 水質管理														
	③ 安全でおいしい水の安定供給														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標					
	給水戸数		給水戸数の把握		戸	目標									
						実績		65	63						
	水質検査		検査項目数		項目	目標									
						実績		12	12						
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	8	飲料水供給施設費
			平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円				
		県支出金			千円			千円			千円				
		地方債			千円			千円			千円				
		その他特定財源			千円			千円			千円				
		一般財源			1,469 千円			421 千円			724 千円				
		計(A)			1,469 千円			421 千円			724 千円				
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.160 人	941 千円		0.160 人	924 千円		0.160 人	929 千円					
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)				2,410 千円			1,345 千円			1,653 千円					

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	生活を営む上で欠くことはできません。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	過疎化により給水戸数が減少傾向にあるが、老朽化した施設を維持管理していくためには、どうしても使用料等に反映させなければならず、今後の維持管理を含め運営が困難となります。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input checked="" type="radio"/> できない	<input type="radio"/> できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	市としては、事業を継続していく必要があります。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input checked="" type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 適当	残る1施設についても指定管理を推進していきます。	<input checked="" type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない		<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 2	総合評価 B	必要性 4	有効性 3	達成度 3	効率性 2	総合評価 B		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	過疎化及び施設老朽化等により管理運営が厳しくなっています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	安全でおいしい水の安定供給を目指します。					各施設とも加入戸数の減少により、維持管理は難しくなっていますが、衛生上からも必要な事業です。指定管理がされていない施設については、引き続き委託を検討してください。						
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	8	基本事務事業名	ごみ関係広報啓発事務	事務事業名	ごみ収集カレンダー作成事務	公的関与	3	シート作成日	平成27年6月24日		
	部局名	市民部		課名	環境衛生課	主務課長名	林英司		シート作成者名	原田昂		
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)	3. 美しい環境のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)	(4) 廃棄物処理等環境衛生対策の充実			<input type="radio"/> 1 該当		平成	年	～	平成	年
		主要施策	(1) ごみ収集・処理体制の充実			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市民									
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	ごみカレンダーの紛失ができるだけ少なくなるように呼びかけます。また、ごみの出し方(分類)が分かりやすくなるように内容を検討していきます。さらに、ごみの出し方だけでなく、減量化・リサイクルについても広報誌やCATVでも今年度と同様に啓発していきます。								
			今年度	ごみカレンダーについては、かなり余裕を持って作成していた部数であるが、配布してあるにも関わらず紛失したとのことで一人(もしくは一世帯)で2部、3部と求める市民が多くありました。								
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
	① ごみカレンダーの作成											
	② ごみカレンダーの配布											
	③ ごみの減量化・リサイクルに関する啓発											
	④											
	⑤											
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標		
	ごみカレンダー作成枚数		必要数を把握するため		枚	目標						
						実績	17,600	17,600				
	ごみカレンダー印刷製本費		必要なコストを把握するため		円	目標						
						実績	291,984	313,632				
	ごみカレンダー配布手数料		必要なコストを把握するため		円	目標						
					実績	289,380	373,140					
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	1 清掃総務費	
			平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考						
	直接事業費	国庫支出金		千円	千円	千円						
		県支出金		千円	千円	千円						
		地方債		千円	千円	千円						
		その他特定財源		千円	千円	千円						
		一般財源		582 千円	687 千円	749 千円						
		計(A)		582 千円	687 千円	749 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.210 人	1,235 千円	0.210 人	1,213 千円	0.210 人	1,220 千円				
		臨時・嘱託職種										
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)			1,817 千円	1,900 千円	1,969 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価		
							○ 少ない	● 大きい		○ 少ない	● 大きい	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。						○ 少ない	● 大きい	財政状況が厳しいとはいえ、住民生活において必須のものと考えられ、今後も引き続き必要である。	○ 少ない	● 大きい	
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。						○ ない	● ある		○ ない	● ある	
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。						● ある	○ ない		● ある	○ ない	
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。						○ いる	● いない		○ いる	● いない	
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。						○ いえない	● いえる	カレンダーや広報誌によって、ごみの出し方が周知され、収集までの流れがスムーズに行われており、非常に有効です。	○ いえない	● いえる	
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。						○ いえない	● いえる		○ いえない	● いえる	
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。						○ する	● しない		○ する	● しない	
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。						○ できない	● できる		○ できない	● できる	
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。						○ 目標に比べて劣っている	年々試行錯誤を重ね改良してきたことによって、現状における最適な状態である。ごみカレンダー不足については、追加発行するとかなり高額になるため、コピーをして貼り合わせたものを配布することにより出来るだけコストがかからないように努力しています。		○ 目標に比べて劣っている		
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。						○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない		
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。						● 概ね達成している			● 概ね達成している		
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。						○ 十分達成している			○ 十分達成している		
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。						○ 高い	● 適当	印刷にかかるコスト削減は最大限まで行ってきたので、今後は住民に配布されたカレンダーを出来るだけ紛失しないよう周知し、発行部数を削減しコストの削減を目指します。	○ 高い	● 適当	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。						○ できる	● できない		○ できる	● できない	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。						● ある	○ ない		● ある	○ ない	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。						● ある	○ ない		● ある	○ ない	
ACTION	一次評価					二次評価						
	評価点	必要性 3	有効性 4	達成度 3	効率性 2	総合評価 B	必要性 3	有効性 4	達成度 3	効率性 2	総合評価 B	
	今後の方向性	○ 拡大・充実 ○ 縮小	● 現状維持 ○ 統合/終期設定	○ 方法改善 ○ 廃止/休止	○ 民間委託等		○ 拡大・充実 ○ 縮小	● 現状維持 ○ 統合/終期設定	○ 方法改善 ○ 廃止/休止	○ 民間委託等		
	当面の課題	上記のように、この事務においてのコスト面で大部分を占めるごみカレンダー配布にかかる費用の削減が重要となります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
	改革案と実行計画	原材料など印刷にかかる費用はかなり抑えてきているので、ある程度の品質を保ちながら、なおかつ見やすいものを作るためには、これ以上のコスト削減は非常に厳しい。今後は部数を減らすことによりコストダウンを図ります。					広報・パンフレット等配布により啓発を図ることにより、市民にごみの適正排出の重要性についてはそのことが地域環境保全について貢献しているを理解していただけるよう、今後も尚一層の啓発及び指導に努めて下さい。広告封筒と同様に、広告ごみ袋を考えてみてください。カレンダーの配布方法も検討する必要があるように思います。					
	委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	8	7	基本事務事業名	生ごみ処理機購入補助事業	事務事業名	生ごみ処理機購入補助事業	公的関与	3	シート作成日	平成27年6月25日	
	部局名	市民部		課名	環境衛生課	主務課長名	林 英司		シート作成者名	藤山 理人		
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input checked="" type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託	
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等	
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了			
		基本計画(施策)		(4) 廃棄物処理等環境衛生対策の充実			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 17 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
	主要施策		(2) 3R運動の促進			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等				
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	阿波市内に住む住所を有するものが居宅に設置する電気式生ごみ処理機及びその購入者									
		目的(どうい う状態に したいのか)	最終的	阿波市における生ごみの減量化及び資源化を図ります。								
			今年度	申請に基づき予算の範囲内で推進します。								
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
	① 交付申請に基づき審査し、決定後補助金を交付します。											
	② 広報やホームページに事業内容の掲載をすることで、市民への周知をはかります。											
	③											
	④											
	⑤											
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標		
	生ごみ処理設置数		予定設置機数		機	目標	15	12	10			
						実績	9	4				
						目標						
						実績						
						目標						
					実績							
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	1 清掃総務費	
			平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考						
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円	
		県支出金			千円			千円			千円	
		地方債			千円			千円			千円	
		その他特定財源			千円			千円			千円	
		一般財源	257 千円		108 千円		300 千円					
	計(A)	257 千円		108 千円		300 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.260 人	1,529 千円		0.260 人	1,501 千円		0.260 人	1,510 千円		
		臨時・嘱託職種										
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円			
全体事業費(A+B)		1,786 千円		1,609 千円		1,810 千円						

		チェック項目				一次評価		一次評価の説明				二次評価	
						○ 少ない	● 大きい					○ 少ない	● 大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。				○ 少ない	● 大きい					○ 少ない	● 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。				○ ない	● ある					○ ない	● ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。				○ ある	● ない					○ ある	● ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。				○ いる	● いない					○ いる	● いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。				○ いえない	● 見える					○ いえない	● 見える
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。				○ いえない	● 見える					○ いえない	● 見える
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。				○ する	● しない					○ する	● しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				○ できない	● できる					○ できない	● できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。				○ 目標に比べて劣っている						○ 目標に比べて劣っている	
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。				● あまり上がっていない						● あまり上がっていない	
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。				○ 概ね達成している						○ 概ね達成している	
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。				○ 十分達成している						○ 十分達成している	
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。				○ 高い	● 適当					○ 高い	● 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。				○ できる	● できない					○ できる	● できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。				○ ある	● ない					○ ある	● ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				○ ある	● ない					○ ある	● ない
ACTION	評価点	一次評価				二次評価							
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	今後の方向性	4	4	2	4	A	4	4	2	4	A		
		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等			
	当面の課題	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止				
		生ごみ処理機の補助金申請数は減少傾向にあるので、継続して広報活動等で補助金制度の周知を行い、申請者に補助金を交付します。				二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	ごみの減量化と資源化を図るため、予算の範囲内で計画的に推進します。				ごみの減量化には、本事業は有効ですが、申請件数が減少傾向にあります。市民ニーズを把握し、他の処理方法等又、支援事業についても検討してください。								
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	8	基本事務事業名	ごみ袋に関する事務	事務事業名	ごみ袋に関する事務	公的関与	3	シート作成日	平成27年6月25日				
	部局名	市民部		課名	環境衛生課	主務課長名	林 英司		シート作成者名	伊月 堅治				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託						
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等						
	総合計画	基本構想(政策)	3. 美しい環境のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)	(4) 廃棄物処理等環境衛生対策の充実			<input type="radio"/> 1 該当		平成	年	～	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
		主要施策	(1) ごみ収集・処理体制の充実			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等						
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市指定ごみ袋											
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	必要量のごみ袋確保は必須です。										
			今年度	必要量のごみ袋を需要に応じて供給しています。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 市指定ごみ袋の発注と購入													
	② 販売店への販売													
	③ 販売への手数料の支払い													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標						
	ごみ袋発注枚数	ごみ袋の必要枚数を把握するため	枚	目標										
				実績	1000000	1200000								
	ごみ袋販売手数料	ごみ袋提供にかかわる必要経費を把握するため	円	目標										
				実績	6553950	6089950								
	ごみ袋等購入代金	ごみ袋等購入にかかる費用を把握するため	円	目標										
実績				7544250	10483560									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	2 塵芥処理費			
			平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金		千円	千円	千円								
		県支出金		千円	千円	千円								
		地方債		千円	千円	千円								
		その他特定財源		千円	千円	千円								
		一般財源	14,289	千円	16,985	千円	19,975	千円						
		計(A)	14,289	千円	16,985	千円	19,975	千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.140	人	823	千円	0.140	人	808	千円	0.140	人	813	千円
		臨時・嘱託職種												
		臨時・嘱託工数・経費	0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円
	全体事業費(A+B)			15,112	千円	17,793	千円	20,788	千円					

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	ごみ袋はなくてはならない必需品なので廃止することはできないし、それに代わるものもなく必要不可欠です。			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	生活における重要度は高く、非常に有効です。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	必要に応じて需要が発生するものであり、欠かさず供給しなければならぬので目標設定は困難です。			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している				<input type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	現時点ではいまの方法が最適と思われるが、今後におけるコスト削減の検討余地はあると思われます。			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない				<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	ごみ袋の需要と供給のバランスは崩せないで、需要を減らすことが課題となります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	ごみ袋の単価は、業者選定により最安値のところから購入することになっているが、原油高騰により業界全体の単価が上がってしまっているため、ごみ減量化で袋の購入枚数を減らすか、販売手数料の減額等でコストダウンを図るなどの改善策は考えられます。					ごみ袋の購入は、入札より適正かつ効率的に行われています。今後、広告入封筒のような広告入ごみ袋の導入について検討して下さい。						
	委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	8	—	9	基本事務事業名	ごみステーションに関する事務	事務事業名	ごみステーションに関する事務	公的関与	2	シート作成日	平成27年6月25日			
	部局名	市民部		課名	環境衛生課		主務課長名	林 英司		シート作成者名	伊月 堅治				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input checked="" type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(4) 廃棄物処理等環境衛生対策の充実				<input type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(1) ごみ収集・処理体制の充実				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		阿波市地域ゴミステーション施設整備事業助成要綱			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		ごみステーション											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	ごみステーションを自治会に管理してもらうことによりゴミへの意識づくりをしてもらうとともに美しいまちづくりを目指す。										
				今年度	ごみステーションの新設及び修善要望に対し、要綱に基づき原材料代を支給している。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① ごみステーションの新設及び修善に伴う助成申請書の受付														
	② 現場確認														
	③ ごみステーションへゴミ箱等の設置														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標					
	ごみステーション数		必要数を把握するため		箇所	目標									
						実績	689	694							
	ごみステーション修善件数		必要数を把握するため		件	目標									
						実績	23	39							
	ごみステーション新設件数		必要数を把握するため		件	目標									
					実績	13	5								
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	4 衛生費		項	2 清掃費		目	2 塵芥処理費	
			平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円				
		県支出金			千円			千円			千円				
		地方債			千円			千円			千円				
		その他特定財源			千円			千円			千円				
		一般財源	849 千円		408 千円		500 千円								
	計(A)	849 千円		408 千円		500 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	588 千円		0.100 人	577 千円		0.100 人	581 千円					
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		1,437 千円		985 千円		1,081 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	ごみステーションの必要性を考えると廃止することはできません。			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない				<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	有効性は充分あるが、要綱改正の検討などでさらに有効性が上がる可能性があります。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	申請に対して発生する事務なので、目標設定はできません。			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している				<input type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	原材料費のみに限定している負担なので、これ以上コスト削減は困難です。			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない				<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	今後の方向性	3	4	3	2	B	3	4	3	3	A		
		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
		この助成を知らない人もたくさんいるようなので、広報などで市民に周知するのがベストだと思うが、予算がかなり少ないために申請が多い場合に対応しきれなくなるという課題があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	課題に書いたように、予算の関係で広く周知すべきかどうかという部分と、住民からの要望として多かった助成内容について検討する必要があります。現在の助成は原材料費のみに限られているので、手数料などその他にかかる費用も助成対象として盛り込んでほしいという意見への対応も考えていかなければなりません。					ステーション方式による家庭ごみの収集方法は、市民に定着しており有効な手段です。ステーション修繕の原材料費、収納器材などについては、ニーズを把握し、年次計画的な予算措置が必要です。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	8	10	基本事務事業名	資源ごみ収集事務	事務事業名	資源ごみ収集事務	公的関与	3	シート作成日	平成27年6月24日			
	部局名	市民部		課名	環境衛生課	主務課長名	林英司		シート作成者名	原田昂				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(4) 廃棄物処理等環境衛生対策の充実			<input type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(1) ごみ収集・処理体制の充実			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		阿波市廃棄物の処理及び清掃に関する条例			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	3R運動(リデュース:発生抑制、リユース:再使用、リサイクル:再生利用)を促進し、ごみの軽量化とごみを出さない生活様式を確立し、更に資源ごみを有効利用し、地球にやさしいリサイクル社会を構築します。									
				今年度										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 資源ごみ(缶・ビン・ペットボトル)の収集運搬を阿波・市場は直営で行い、吉野・土成は委託業者により行います。													
	② 資源ごみ(新聞・雑誌・段ボール・牛乳パック)は各4地区で月1回拠点回収を行います。													
	③													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標				
	資源ごみ収集量				t	目標								
						実績	835	811						
	資源ごみ収集委託料				社	目標								
						実績	8	8						
						目標								
					実績									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費
			平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円			
		県支出金			千円			千円			千円			
		地方債			千円			千円			千円			
		その他特定財源			千円			千円			千円			
		一般財源	8,150 千円		7,963 千円		8,705 千円							
		計(A)	8,150 千円		7,963 千円		8,705 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	2,941 千円		0.500 人	2,887 千円		0.500 人	2,905 千円				
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)		11,091 千円		10,850 千円		11,610 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
		1.	2.	3.	4.	総合	○ 少ない	● 大きい	地球環境を考えたごみ施策のなかでも資源ごみ収集・リサイクルは大きな役割を占めており市民生活に当然必要です。	○ 少ない	● 大きい		
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ ない	● ある	○ ない	○ いる	● いない	市民自らがごみ分別の徹底に取り組む中で、市民一人ひとりがりサイクルに対する意識の向上が図られてきており有効です		○ ない	● ある		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	● ある	○ ない	○ いる	● いない			○ ない	● ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	● ある	○ ない	○ ない	○ いる	● いない			○ ない	● ある		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	● いない	○ ない	○ いる	● いない		○ いる	● いない			
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる	○ する	○ できない	● できる	市が3R運動を積極的に推進することによりごみ量の削減と環境保全のため尚一層の啓発・指導をはかることにより成果が上がると考えます。	○ いえない	● いえる			
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	● いえる	○ する	○ できない	● できる		○ いえない	● いえる			
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	● しない	○ する	○ できない	● できる		○ する	● しない			
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	● できる	○ する	○ できない	● できる		○ できない	● できる			
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている	○ 概ね達成している	○ 十分達成している	○ 十分達成している	市が3R運動を積極的に推進することによりごみ量の削減と環境保全のため尚一層の啓発・指導をはかることにより成果が上がると考えます。	○ 目標に比べて劣っている	● あまり上がっていない				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	● あまり上がっていない	○ 概ね達成している	○ 十分達成している	○ 十分達成している		○ 目標に比べて劣っている	● あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している	○ 十分達成している	○ 十分達成している	○ 十分達成している		○ 目標に比べて劣っている	● あまり上がっていない				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している	○ 十分達成している	○ 十分達成している	○ 十分達成している		○ 目標に比べて劣っている	● あまり上がっていない				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当	○ ある	○ ない	適正・効率的なごみ収集運搬体制を構築し継続的に事業を実施しています。	○ 高い	● 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	● できる	○ できない	○ ある	○ ない		○ 高い	● 適当				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	● ない	○ ある	○ ない		○ 高い	● 適当				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	● ある	○ ない	○ ある	○ ない		○ 高い	● 適当				
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	今後の方向性	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	B	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	B		
		○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止				
	当面の課題	循環型社会確立のため資源ごみの分別収集の必要性について自治会等を通じて広報・啓発を行う必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	コスト面だけにとらわれず市民への利便性を考慮しながら、引き続き尚一層効率的な資源ごみ収集を進めるべきと思われます。					市民に対し、循環型社会の実現の重要性について、根気よく広報・啓発を続けて下さい。						
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	8	11	基本事務事業名	家庭ごみ収集事務	事務事業名	家庭ごみ収集事務	公的関与	3	シート作成日	平成27年6月24日			
	部局名	市民部		課名	環境衛生課	主務課長名	林英司	シート作成者名	原田昂					
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(4) 廃棄物処理等環境衛生対策の充実				<input type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input type="checkbox"/> 期間設定なし		
		主要施策		(1) ごみ収集・処理体制の充実				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		阿波市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	一般廃棄物(家庭ごみ)の排出を抑制するとともに、一般廃棄物の適正な分別・処理を行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ります。									
				今年度										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 家庭ごみ(可燃ごみ)の収集運搬を阿波・市場は直営で行い、吉野・土成は委託業者により行う。													
	② 家庭ごみ(可燃ごみ)は毎月・毎週2回(月曜日・木曜日)各ステーションで回収を行う。													
	③ ごみ分別収集のチラシや市広報等により啓発を実施													
	④ 市民の環境保全意識の高揚に努め市民との協働のもと、不法投棄の監視・指導体制を強化する。													
	⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標				
	家庭ごみ収集量				t	目標								
						実績	2,999	2975						
	家庭ごみ収集委託業者				社	目標								
						実績	3	3						
						目標								
					実績									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費
			平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円			
		県支出金			千円			千円			千円			
		地方債			千円			千円			千円			
		その他特定財源			千円			千円			千円			
		一般財源	65,305		千円	67,171		千円	79,147		千円			
		計(A)	65,305		千円	67,171		千円	79,147		千円			
	人件費(B)	正職員工数・経費	3.650	人	21,468	千円	3.650	人	21,076	千円	3.650	人	21,203	千円
		臨時・嘱託職種	塵芥作業員			塵芥作業員			塵芥作業員					
臨時・嘱託工数・経費		9.100	人	20,220	千円	10.100	人	22,442	千円	10.100	人	22,442	千円	
全体事業費(A+B)		106,993		千円	110,690		千円	122,792		千円				

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
		1.	2.	3.	4.	総合	○ 少ない	● 大きい	各家庭から排出される家庭系一般廃棄物のごみ処理は市の責務であり、必要不可欠です。	○ 少ない	● 大きい		
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	● 大きい							○ 少ない	● 大きい	
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	● ある							○ ない	● ある	
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	● ない							○ ある	● ない	
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	● いない						○ いる	● いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる					家庭ごみ分別とごみ減量化の必要性を認識させることにより、ごみの減量化が促進をはかるうえで有効です。	○ いえない	● いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	● いえる						○ いえない	● いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	● しない						○ する	● しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	● できる						○ できない	● できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている					ステーションへの分別搬入および処理方法については一応成果が上がってきているが、今後尚一層の循環型社会に向けた啓発を図ります。	○ 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない						○ あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	● 概ね達成している						● 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している						○ 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当				収集運搬業務については、直営と収集委託業者の2方式で行っているが現状では地域の实情に即した最適な方法です。	○ 高い	● 適当			
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	● できる	○ できない					● できる	○ できない			
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	● ある	○ ない					● ある	○ ない			
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない					○ ある	● ない			
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	今後の方向性	4	4	3	2	B	4	4	3	2	B		
		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等			
	当面の課題	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止				
		ステーションに出すごみは地域住民の意識付けが必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	ごみの適切な出し方を説明し、住民の理解と協力を得るように自治会へ働きかけます。					収集体制は各地域に定着していますが、適正な出し方や減量化の広報・啓発等の推進を図ってください。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	8	—	12	基本事務事業名	粗大ごみ収集事務	事務事業名	粗大ごみ収集事務	公的関与	3	シート作成日	平成27年6月24日			
	部局名	市民部			課名	環境衛生課	主務課長名	林英司		シート作成者名	原田昂				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(4) 廃棄物処理等環境衛生対策の充実				<input type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(1) ごみ収集・処理体制の充実				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		阿波市廃棄物の処理及び清掃に関する条例			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	一般廃棄物(粗大ごみ)の排出を抑制するとともに、廃棄物の適正な分別・運搬・処理し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ります。										
				今年度											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 粗大ごみの収集を阿波・市場・土成は各収集場所で回収し、吉野については委託業者により行う。														
	② 粗大ごみは市場(第一日曜日)土成(第二日曜日)吉野(第一・三金曜日)(第二・四金曜日)阿波(第四日曜日)に各指定の場所で収集作業を実施														
	③ ごみ分別収集のチラシや市広報等により啓発を実施														
	④ 市民の環境保全意識の高揚に努め市民との協働のもと、不法投棄の監視・指導体制を強化する。														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標					
	粗大ごみ収集量				t	目標									
						実績	35	35							
	粗大ごみ収集委託業者				社	目標									
						実績	2	2							
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費
			平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円				
		県支出金			千円			千円			千円				
		地方債			千円			千円			千円				
		その他特定財源			千円			千円			千円				
		一般財源			923 千円			945 千円			1,296 千円				
	計(A)			923 千円			945 千円			1,296 千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.700 人	9,999 千円	1.700 人	9,816 千円	1.700 人	9,875 千円							
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)				10,922 千円			10,761 千円			11,171 千円					

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	○ 少ない	● 大きい	一般廃棄物処理は自治体の固有業務であり、粗大ごみについても市は適正な処理を推進に向け積極的に関与するべきものであります。	○ 少ない	● 大きい		
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	● 大きい	自主的な3R運動を促進し、生活環境の保全に必要な事業であり、ごみを適正に収集することにより良好な住環境づくりを促進を図る上で有効です。	○ 少ない	● 大きい						
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	● ある		○ ない	● ある						
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない						
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	● いない		○ いる	● いない						
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる	広報啓発活動により排出量の抑制がはかられており、又、適正な収集運搬処理に取り組むことにより生活環境の保全と意識高揚がはかられて徐々に向上しています。	○ いえない	● いえる						
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	● いえる		○ いえない	● いえる						
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	● しない		○ する	● しない						
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	● できる		○ できない	● できる						
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている	広報啓発活動により排出量の抑制がはかられており、又、適正な収集運搬処理に取り組むことにより生活環境の保全と意識高揚がはかられて徐々に向上しています。	○ 目標に比べて劣っている								
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない		○ あまり上がっていない								
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	● 概ね達成している		● 概ね達成している								
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している		○ 十分達成している								
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当	リサイクル意識の向上と普及により市民のリユース(再利用)意識は高まりつつあるが、現状は発生抑制をはかり循環型社会の実現に向けた成果が発揮できると思われま。	○ 高い	● 適当						
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	● できる	○ できない		● できる	○ できない						
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない						
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	● ある	○ ない		● ある	○ ない						
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	今後の方向性	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等			
		○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止	○ 縮小		○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止					
	当面の課題	資源循環型社会構築に向け、市民意識の高揚を図り、一般廃棄物(粗大ごみ)の減量化・資源化をすすめる必要があります。					減量化、資源化を行うために、啓発の普及が必要であります。検討してください。また、高齢者世帯の収集方法も考えてください。						
	改革案と実行計画	今後、適正・効率的なごみ収集運搬処理体制を構築し継続的に事業を実施します。											
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	8	13	基本事務事業名	廃家電リサイクル処理事務	事務事業名	廃家電リサイクル処理事務	公的関与	3	シート作成日	平成27年6月24日			
	部局名	市民部		課名	環境衛生課	主務課長名	林英司		シート作成者名	原田昂				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的業務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(4) 廃棄物処理等環境衛生対策の充実			<input type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(1) ごみ収集・処理体制の充実			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		家電リサイクル法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		廃家電4品目										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	市民から搬入されるものは仕方ないが、不法投棄の分については、従来どおり広報誌やCATVなどで周知したり、多発してる場所には看板を立てるなどの防止手段をとってできるだけ処理数を減らしていきます。									
				今年度	市民から搬入されるものは仕方ないが、不法投棄の分については広報誌やCATVなどで周知したり、多発してる場所には看板を立てるなどの防止手段をとってできるだけ処理数を減らしていけるよう実施しています。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 処理方法に対する問い合わせへの対応													
	② 住民から持ち込まれる分に対する受取													
	③ 不法投棄分のリサイクル券の購入													
	④ 搬入前に各家電にシールを貼って分類する。													
	⑤ 各処理施設への搬入													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標					
	不法投棄処理に伴うリサイクル券購入枚数		不法投棄件数を図るため		枚	目標								
						実績	46	81						
						目標								
						実績								
						目標								
					実績									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	4 衛生費		項	2 清掃費		目	2 塵芥処理費	
			平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円			
		県支出金			千円			千円			千円			
		地方債			千円			千円			千円			
		その他特定財源			千円			千円			千円			
		一般財源	144 千円		238 千円		257 千円							
	計(A)	144 千円		238 千円		257 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.160 人	941 千円		0.160 人	924 千円		0.160 人	929 千円				
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)		1,085 千円		1,162 千円		1,186 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	廃棄物処理として、絶対に必要です。今後市民に処理に対しての意識向上のため、広報が必要 です。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	市民生活での重要度が高いので、非常に有効です。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	随時発生する廃棄物なので、数値等の目標設定はできません。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input checked="" type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 適当	事業費としての部分だけではなく、家電を搬出する前の分別作業や積み込みや処理施設への配送などにより、人員・労力はかなり負担になります。	<input checked="" type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等				
	当面の課題	不法投棄分の廃家電をできるだけ少なくすること、及び処理方法の広報が課題です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	不法投棄分がかなりの割合を占めているので、少しでも減らすことができるように不法投棄防止の啓発をしていきます。					広報啓発により周知が図られ、理解が得られたと思われるが、今後においても不法投棄防止のために、広報啓発を継続してください。						
	委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	8	14	基本事務事業名	浄化槽設置整備事業	事務事業名	浄化槽設置整備事業	公的関与	3	シート作成日	平成27年6月25日				
	部局名	市民部		課名	環境衛生課	主務課長名	林 英司	シート作成者名	伊月 堅治						
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input checked="" type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(3) 下水道の整備				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 27 年 ~ 平成 31 年 <input type="checkbox"/> 期間設定なし					
		主要施策		(2) 下水道事業の計画的推進				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等 阿波市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱					
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		阿波市全域(農業集落排水事業整備区域を除く)											
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	阿波市全域(農業集落排水事業整備区域を除く)において、既存単独槽及び汲み取り槽をすべて合併浄化槽に転換し、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、環境にやさしいまちづくりを目指します。										
				今年度	申請に基づき予算の範囲内で執行します。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 交付申請に基づき補助対象区域及び終末排水路の有無を現地確認後に補助金交付決定通知の交付														
	② 決定通知交付後に工事着工中に単独槽撤去、汲み取り槽撤去、浄化槽本体及び埋設の現地確認														
	③ 実績報告受理後に工事完了確認														
	④ 補助金交付額確定通知に基づき、交付請求により補助金の交付														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標					
	浄化槽設置数		予定設置件数		基	目標	143	143	150						
						実績	132	98							
						目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	3	浄化槽整備事業費
			平成	25	年度決算	平成	26	年度決算	平成	27	年度予算	備考			
	直接事業費	国庫支出金			7,955	千円			7,873	千円			10,663	千円	
		県支出金			4,314	千円			4,448	千円			9,063	千円	
		地方債				千円				千円				千円	
		その他特定財源				千円				千円				千円	
		一般財源			19,200	千円			13,251	千円			12,264	千円	
		計(A)			31,469	千円			25,572	千円			31,990	千円	
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.000	人	5,882	千円	1.000	人	5,774	千円	1.000	人	5,809	千円	
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円		
全体事業費(A+B)				37,351	千円			31,346	千円			37,799	千円		

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	環境の保全と快適な環境づくりに水質汚濁の防止は必要不可欠な事業です。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	家庭からの排水改善するには新築は別にして、水質汚濁の改善には既存の単独浄化槽と汲み取り槽を合併浄化槽に転換することで改善を図ることができます。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	合併浄化槽の設置は、40%弱しかできていないので転換の推進に努力します。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input checked="" type="radio"/> あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		<input type="radio"/> 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	公共下水道と比較してもコストがかからないし、効率性も非常に高いです。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 2	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等				
	当面の課題	既存の単独処理浄化槽及び汲み取り槽を合併処理浄化槽への転換を積極的に行い合併処理浄化槽の普及率を50%以上を目指します。公共水域等の放流先がない場所についてどういう対策を取るか建設課と協力しながら進めていきます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	広報誌及びホームページを活用し、市民へ情報提供します。放流先の確認を建設課と協議しながら少しでも改善するよう努めます。					本市の現状から公共下水道は、難しいと思われます。水質汚濁防止の観点から有効な事業です。尚一層、広報啓発を行って下さい。						
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	8	15	基本事務事業名	公害・苦情・不法投棄等事務	事務事業名	公害・苦情・不法投棄等事務	公的関与	3	シート作成日	平成27年6月25日			
	部局名	市民部		課名	環境衛生課	主務課長名	林 英司		シート作成者名	藤山 理人				
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1) 環境の保全と創造			<input type="radio"/> 1 該当		平成	年	~	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策		(3) 公害等環境問題への適切な対応			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		雑草等の苦情及びごみの不法投棄										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	会社(企業)及び市民に広報等による啓発活動を行い苦情がでないように環境保全に努めます。									
				今年度	関係機関と連携して、企業及び市民に広報等による啓発活動を行います。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 市民からの通報により現場確認													
	② 各関係機関に連絡													
	③ 雑草については所有者に通知													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標				
	苦情及び相談件数		申立件数		件	目標								
						実績	64	35						
						目標								
						実績								
						目標								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	5	環境衛生費
			平成	25	年度決算	平成	26	年度決算	平成	27	年度予算	備考		
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円						
		県支出金			千円			千円						
		地方債			千円			千円						
		その他特定財源			千円			千円						
		一般財源			千円			千円						
		計(A)			0 千円			0 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.700 人		4,117 千円	0.700 人		4,042 千円	0.700 人		4,066 千円			
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人		0 千円	0.000 人		0 千円	0.000 人		0 千円				
全体事業費(A+B)				4,117 千円			4,042 千円			4,066 千円				

		チェック項目				一次評価		一次評価の説明		二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。				<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	自然環境を守るのに必要です。		<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある			<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない			<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	ごみ不法投棄及び雑草等の苦情が増加しているため処理しても後がたたない状況です。		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。				<input checked="" type="radio"/> いえない	<input type="radio"/> いえる			<input checked="" type="radio"/> いえない	<input type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない			<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる			<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。				<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	ごみの不法投棄・雑草の苦情等が増加しています。		<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。				<input checked="" type="radio"/> あまり上がっていない			<input checked="" type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。				<input type="radio"/> 概ね達成している			<input type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。				<input type="radio"/> 十分達成している			<input type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。				<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	通報により現場確認をするので効率が悪いです。		<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。				<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない			<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。				<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない			<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 3	達成度 2	効率性 2	総合評価 B	必要性 4	有効性 3	達成度 2	効率性 2	総合評価 B
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	
	当面の課題	行政関係機関及び市民からの通報等により現地確認を行い、早急な対応に努めます。なお、休日等の対応が必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	市民からの通報だけでなく、監視体制等の強化及び市民に対して環境保全に対する理解を深めてもらうため、広報等の充実に努めます。					不法投棄防止の住民意識を高めるための、広報等の取り組みを更に図ってください。				
	委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	8	—	16	基本事務事業名	公害(騒音・振動・悪臭)一般事務	事務事業名	特定建設作業・特定施設届出事務	公的関与	1	シート作成日	平成27年6月29日			
	部局名	市民部		課名	環境衛生課		主務課長名	林英司		シート作成者名	青江卓巳				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1) 環境の保全と創造				<input type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(3) 公害等環境問題への適切な対応				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		騒音・振動規制法、大気汚染防止法、県生活環境保全条例			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		事業所等からの各種届出の受理及び連絡調整											
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	徳島県生活環境保全条例等の関係法令に基づき阿波市の環境保全に努めます。										
				今年度	徳島県生活環境保全条例等の関係法令に基づき阿波市の環境保全に努めます。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 事業所からの各種届けの受付														
	② 関係機関への連絡調整														
	③ 地元から苦情が出れば事業所への調査・指導														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標					
	届出件数				件	目標									
						実績	13	15							
						目標									
						実績									
						目標									
実績															
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	1	清掃総務費
			平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円				
		県支出金			千円			千円			千円				
		地方債			千円			千円			千円				
		その他特定財源			千円			千円			千円				
		一般財源			千円			千円			千円				
		計(A)			0 千円			0 千円			0 千円				
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	588 千円		0.100 人	577 千円		0.100 人	581 千円					
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)				588 千円			577 千円			581 千円					

		チェック項目				一次評価		一次評価の説明		二次評価	
						少ない	大きい			少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。				<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	安全で安心なまちづくりおよび自然環境を守るため必要な事業です。		<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある			<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。				<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない			<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない			<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	生活環境が豊になり個人の尊厳が問われる時代であるからこそ、施設の把握、近隣住民とのトラブル防止のため有効です。		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない			<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる			<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。				<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	事業所からの届出によるため目標設定はできません。		<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。				<input type="radio"/> あまり上がっていない			<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。				<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している			<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。				<input type="radio"/> 十分達成している			<input type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。				<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	届出により現場確認を行うため、効率は悪いです。		<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。				<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない			<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	今後の方向性	3	4	3	4	A	3	4	3	4	A
		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	
	当面の課題	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		
		届出書の内容について法律の遵守確認に手間を必要とします。				二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
改革案と実行計画	関係機関と連携して簡素化を検討します。				事業所からの届出内容の審査を厳格に行い、適正な指導に努めて下さい。						
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	8	17	基本事務事業名	公害(水質汚濁)一般事務	事務事業名	特定施設設置届出に関する事務	公的関与	1	シート作成日	平成27年6月29日		
	部局名	市民部		課名	環境衛生課	主務課長名	林英司		シート作成者名	青江卓巳			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託		
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(1)環境の保全と創造			<input type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
		主要施策		(3)公害等環境問題への適切な対応			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		水質汚濁防止法		
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		事業所等からの各種届出経由事務及び連絡調整									
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	水質汚濁防止法及び関係法令を遵守し阿波市の環境保全に努めます。								
				今年度									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 経由事務[事業所～阿波市～県(保健所)]												
	② 関係機関への連絡調整												
	③												
	④												
	⑤												
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標			
	届出件数				件	目標							
						実績	14	17					
						目標							
						実績							
						目標							
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	1 清掃総務費		
			平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考							
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円		
		県支出金			千円			千円			千円		
		地方債			千円			千円			千円		
		その他特定財源			千円			千円			千円		
		一般財源			千円			千円			千円		
		計(A)	0 千円		0 千円		0 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	588 千円	0.100 人	577 千円	0.100 人	581 千円					
		臨時・嘱託職種											
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		588 千円		577 千円		581 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input checked="" type="radio"/>	少ない	<input type="radio"/>	大きい	県へ直接、届出を行い、写しと一部を市にいただければ事業としての必要性は少ないです。	<input checked="" type="radio"/>	少ない	<input type="radio"/>	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	施設の構造等を把握するうえで有効です。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	事業所からの届出によるため目標設定はできません。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	経由するだけの事務なので直接、県に届出する方が効率が良い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		1	4	3	4	C	1	4	3	4	C		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input checked="" type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input checked="" type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	県への経由と関係機関との連絡調整が主体の事務であるため、簡素化・省力化に向けて方法改善を行うことが当面の課題です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	関係機関と連携して事務の簡素化を検討します。					関係機関との調整をし、適正な指導に努めて下さい。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	8	18	基本事務事業名	環境基本条例(開発行為の計画届出等)に関する事務	事務事業名	環境基本条例(開発行為の計画届出等)に関する事務	公的関与	4	シート作成日	平成27年6月29日			
	部局名	市民部		課名	環境衛生課	主務課長名	林英司		シート作成者名	兼中豊久				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1)環境の保全と創造			<input type="radio"/> 1 該当		平成	年	~	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策		(1)地域環境総合計画(環境基本計画)の策定			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		開発行為を行う事業者が開発計画書により届け出を行い、環境保全に努める。										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	住み良い街造りを推進するため、緑豊かな恵まれた自然環境や生活環境を守り、現在及び未来に亘り自然と調和した健康で夢と希望と活力のある街造りを推進します。									
				今年度										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 開発計画の協議													
	② 計画書の受付													
	③ 環境審議会の開催													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標				
			届け出に対する事務事業のため、目標設定はなじまない。			目標								
						実績								
						目標								
						実績								
						目標								
					実績									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	1	清掃総務費
			平成	25	年度決算	平成	26	年度決算	平成	27	年度予算	備考		
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円						
		県支出金			千円			千円						
		地方債			千円			千円						
		その他特定財源			千円			千円						
		一般財源			千円			千円						
		計(A)			0 千円			0 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人		588 千円	0.100 人		577 千円	0.100 人		581 千円			
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人		0 千円	0.000 人		0 千円	0.000 人		0 千円				
全体事業費(A+B)				588 千円			577 千円			581 千円				

		チェック項目				一次評価		一次評価の説明		二次評価	
						少ない	大きい			少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。				<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	市の環境保全のため必要性は高い。		<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。				<input checked="" type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある			<input checked="" type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない			<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	無秩序な開発の規制に有効です。		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。				<input checked="" type="radio"/> いえない	<input type="radio"/> いえる			<input checked="" type="radio"/> いえない	<input type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。				<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない			<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる			<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。				<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	地域環境総合計画の策定により達成度を高めます。		<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。				<input type="radio"/> あまり上がっていない			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。				<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している			<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。				<input type="radio"/> 十分達成している			<input type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。				<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	総合計画の策定等効率性は低いですが、自然環境及び生活環境の保全に努め、市民の意識向上、自主活動の助長に努めます。		<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。				<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない			<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 3	有効性 2	達成度 3	効率性 3	総合評価 C	必要性 3	有効性 2	達成度 3	効率性 3	総合評価 C
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	
	当面の課題	本条例の目的を総合的、計画的に推進するため、地域環境総合計画(環境基本計画)の策定が課題です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	全市的な環境保全の指針に基づき、開発行為の中身について審査、整合性が図れるよう、環境基本計画の早期策定に努めます。					自然環境や生活環境を守るため、本条例に基づく開発の制限は有効な施策です。適正な運用を図ってください。				
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	8	—	19	基本事務事業名	阿波市汚水処理構想業務	事務事業名	阿波市汚水処理検討委員会事務	公的関与	3	シート作成日	平成27年6月29日			
	部局名	市民部		課名	環境衛生課		主務課長名	林 英司		シート作成者名	古谷 昌寛				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input checked="" type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(3) 下水道の整備				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(1) 汚水処理計画の見直し				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		浄化槽法、下水道法、水濁法、瀬戸内法			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		阿波市全域											
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	汚水処理人口普及率の向上(水環境の整備)										
				今年度	阿波市全域の汚水処理構想の見直し・検討										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 今後、10年間概成を目指すため施策を検討														
	②														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標					
	会議の開催		開催回数		回	目標	1	1	3						
						実績	0	0							
						目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	4 衛生費		項	1 保健衛生費		目	5 環境衛生費	
			平成 25 年度決算	平成 26 年度決算		平成 27 年度予算		備考							
	直接事業費	国庫支出金			千円	千円		千円							
		県支出金			千円	千円		千円							
		地方債			千円	千円		千円							
		その他特定財源			千円	千円		千円							
		一般財源			千円	千円		2,886 千円							
		計(A)	0 千円		0 千円		2,886 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.000 人	5,882 千円		1.000 人	5,774 千円		1.000 人	5,809 千円					
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		5,882 千円		5,774 千円		8,695 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	水環境を守っていかなければなりません。			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい					
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある					
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない				<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない					
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない					
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	汚水処理は、自然環境保護の観点からも行政の重要施策の一つであります。事業実施には多額の費用を要するとともに何よりも市民の理解が必要です。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる					
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる					
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない					
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる					
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	汚水処理人口普及率向上のため、現構想を見直し、住みよいまちづくりを目指します。			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input checked="" type="radio"/> あまり上がっていない				<input checked="" type="radio"/> あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/> 概ね達成している				<input type="radio"/> 概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/> 十分達成している				<input type="radio"/> 十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	きれいな水に戻して帰すことで生活環境が良くなり、市が実施するあらゆる施策(農業振興、衛生・水道行政等)においても効果大であります。			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当					
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない				<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない					
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない				<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない					
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 3	有効性 4	達成度 2	効率性 2	総合評価 B	必要性 3	有効性 4	達成度 2	効率性 2	総合評価 B		
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	事業推進していくためには財源・人員の確保が必要となります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	課題は多くありますが、協議を重ね具体的な汚水処理手法を示す時期に到来しています。					市全域の汚水処理を実施するためには多額の経費を要するため、財政状況等を考慮しながら実現可能なものにしなければなりません。よって一層の検討・協議が必要となります。						
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	8	—	20	基本事務事業名	農業集落排水一般管理事務	事務事業名	農業集落排水一般管理事務	公的関与	6	シート作成日	平成27年6月30日			
	部局名	市民部		課名	環境衛生課		主務課長名	林 英司		シート作成者名	尾崎 啓蔵				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input checked="" type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(3) 下水道の整備				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 17 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(3) 下水道施設の適正管理				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		農業集落排水施設設置及び管理に関する条例			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		農業集落排水供用区域(一条西地区・柿原東地区)											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	公共用水の水質保全と農業集落排水加入率を100%に近づけます。										
				今年度	集落排水に接続しているが、加入していない家の加入推進を行う。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 広報やケーブルテレビを使い、農業集落排水への加入を呼びかけます。														
	②														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標					
	農業集落排水施設接続戸数		接続戸数が計画戸数に近づいているか判断できる。		戸		目標	776	776	776	776				
							実績	522	532						
							目標								
							実績								
							目標								
						実績									
DO	予算費目	会 計	農業集落排水事業特別会計				款	1	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費
			平成 25 年度決算		平成 26 年度決算		平成 27 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円				
		県支出金			千円			千円			千円				
		地方債			千円			千円			千円				
		その他特定財源			千円			千円			千円				
		一般財源	481 千円		459 千円		565 千円								
		計(A)	481 千円		459 千円		565 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.400 人	2,353 千円		0.400 人	2,310 千円		0.400 人	2,324 千円					
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		2,834 千円		2,769 千円		2,889 千円									

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

		チェック項目				一次評価		一次評価の説明		二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。				<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	平成26年度は、接続戸数が4戸増となっております。今後も農業集落排水への加入戸数及び接続の促進に取り組めます。		<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある			<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない			<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	農業集落排水を適正に利用して頂くため啓発活動に力を入れて取り組みます。		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない			<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる			<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。				<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	近年は大幅な増加はありませんが、今年度は接続戸数が4戸増となっており、着実に接続戸数を増やしています。		<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。				<input type="radio"/> あまり上がっていない			<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。				<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している			<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。				<input type="radio"/> 十分達成している			<input type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。				<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	啓発活動には阿波市の広報を利用するため予算をかけずに行っております。		<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。				<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない			<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	
	当面の課題	平成26年度は、接続戸数が4戸増えました。しかし、一戸建て住宅がほとんどだったために大幅な人数の増加がありませんでした。計画人数が、一条西地区1,910人柿原東地区1,220人に対して、平成27年3月末現在で一条西地区922人柿原東地区848人が使用しており、まだ処理能力に余裕があり、加入接続の普及に努める必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	集排の加入接続を上げるためには、市営住宅(大野神団地・野田原団地)の水洗化と集合住宅(マンション等)の加入促進が必要です。					現在の加入率を比較すると、一条西地区の計画戸数に市営住宅戸数を加味している事を削除しても、柿原東地区よりも約18%低い値となっています。なお一層、未加入住宅の個別加入促進に努力してください。				
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	8	—	21	基本事務事業名	農業集落排水施設管理事務	事務事業名	一条西地区農業集落排水事業施設管理・運営事務	公的関与	3	シート作成日	平成27年6月30日			
	部局名	市民部			課名	環境衛生課		主務課長名	林 英司		シート作成者名	尾崎 啓蔵			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(3) 下水道の整備				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 17 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(3) 下水道施設の適正管理				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		農業集落排水施設設置及び管理に関する条例			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		一条西地区農業集落排水施設設置・管路施設											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	適切な施設管理を行いながら、公共用水域への水質保全を行います。										
				今年度	施設から排水される汚泥の量を抑えながら、処理水の水質保全を行います。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 施設の適正な施設管理を行い汚濁負荷量を安定させます。														
	② 施設から排出される処理水の水質を安定させます。														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標					
	BOD汚濁負荷		曝気槽の単位MLSS当たり、1日に処理されるBOD量		kg/m ³ ・日	目標	3	3	3	3					
						実績	5	4.9							
						目標									
						実績									
						目標									
DO	予算費目	会 計	農業集落排水事業特別会計				款	2 事業費		項	1 施設管理費		目	1 一条西地区施設管理費	
			平成 25 年度決算		平成 26 年度決算		平成 27 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円				
		県支出金			千円			千円			千円				
		地方債			千円			千円			千円				
		その他特定財源			千円			千円			千円				
		一般財源	14,639 千円		15,453 千円		18,922 千円								
		計(A)	14,639 千円		15,453 千円		18,922 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.500 人	8,822 千円		1.500 人	8,662 千円		1.500 人	8,714 千円					
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		23,461 千円		24,115 千円		27,636 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
		1.	2.	3.	4.	総合評価	○ 少ない	● 大きい	施設を適正に管理するためには、施設の維持管理業務が必要です。施設の維持管理業者と汚泥抜き取り業者が同一業者であるため、余分な汚泥の抜き取りがないか確認しています。	○ 少ない	● 大きい		
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	● 大きい	汚泥と放流水を確認することで、汚泥の水分量、水質保全が来ています。	○ 少ない	● 大きい	BODの汚濁負荷は目標まで到達していませんが、安定はしています。また、水質はとても良い状態で環境に影響しないレベルを保っています。		○ 少ない	● 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	● ある		○ ない	● ある						
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	● ある	○ ない		○ ない	○ ない						
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	● いない		○ いる	● いない						
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる	使用開始以降、使用料が同じで効果に比べコストは高くなっています。	○ 目標に比べて劣っている	○ 目標に比べて劣っている	● 概ね達成している	○ いえない	● いえる			
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	● いえる		○ あまり上がっていない	○ あまり上がっていない						
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	● しない		● 概ね達成している	● 概ね達成している						
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	● できる		○ 十分達成している	○ 十分達成している						
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている	○ 目標に比べて劣っている	● 高い	○ 高い	○ 適当	● できる	○ 高い	○ 適当			
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない	○ あまり上がっていない		○ できる	○ できない		○ できる	○ できない			
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	● 概ね達成している	● 概ね達成している		○ ある	● ない		○ ある	● ない			
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している	○ 十分達成している		○ ある	● ない		○ ある	● ない			
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	● 高い	○ 適当	● 高い	○ 高い	○ 適当	● できる	○ 高い	○ 適当			
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	● できる	○ できない		○ できる	○ できない		○ できる	○ できない			
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない		○ ある	● ない			
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない		○ ある	● ない			
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	今後の方向性	3	4	3	2	B	3	4	3	2	B		
		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等				
	当面の課題	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点								
		自然流化式で汚水を処理場まで送っており、途中のマンホールから流入する雨水等を減らし、汚泥の水分量を減らします。					施設の適正な維持管理業務は、水質汚濁防止は勿論のこと特別会計への健全な運営にも影響を及ぼします。今後とも調査研究を進め、効率的な管理運営に努めてください。						
改革案と実行計画	平成24年度に行った管路漏水調査の結果から、補修すべき箇所を補修します。												
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	8	—	22	基本事務事業名	農業集落排水施設管理事務	事務事業名	柿原東地区農業集落排水事業施設管理・運営事務	公的関与	3	シート作成日	平成27年6月30日			
	部局名	市民部			課名	環境衛生課		主務課長名	林 英司		シート作成者名	尾崎 啓蔵			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(3) 下水道の整備				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 17 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(3) 下水道施設の適正管理				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		農業集落排水施設設置及び管理に関する条例			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		柿原東地区農業集落排水施設設置・管路施設											
		目的(どうい う状態に したいのか)		最終的	適切な施設管理を行いながら、公共用水域への水質保全を行います。										
				今年度	施設から排水される汚泥の量を抑えながら、処理水の水質保全を行います。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 施設の適正な施設管理を行い汚濁負荷量を安定させます。														
	② 施設から排出される処理水の水質を安定させます。														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標					
	BOD汚濁負荷		曝気槽の単位MLSS当たり、1日に処理されるBOD量		kg/m ³ ・日	目標	7	7	7	7					
						実績	21	24							
						目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	農業集落排水事業特別会計				款	2 事業費		項	1 施設管理費		目	2 柿原東地区施設管理	
			平成 25 年度決算		平成 26 年度決算		平成 27 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円				
		県支出金			千円			千円			千円				
		地方債			千円			千円			千円				
		その他特定財源			千円			千円			千円				
		一般財源	22,314 千円		26,703 千円		30,680 千円								
	計(A)	22,314 千円		26,703 千円		30,680 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.500 人	8,822 千円		1.500 人	8,662 千円		1.500 人	8,714 千円					
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		31,136 千円		35,365 千円		39,394 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
							少ない	大きい					少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	施設を適正に管理するためには、施設の維持管理業務が必要です。施設の維持管理業者と汚泥抜き取り業者が同一業者であるため、余分な汚泥の抜き取りがないか確認しています。				<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない					<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	汚泥と放流水を確認することで、汚泥の水分量、水質保全が来ています。				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input checked="" type="radio"/> 目標に比べて劣っている	BODの汚泥負荷は目標まで到達していませんが、安定はしています。また、水質はとても良い状態で環境に影響しないレベルを保っています。				<input checked="" type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない					<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している					<input type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している					<input type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input checked="" type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 適当	真空式で汚水を処理場まで送っているため、個人宅の真空弁や処理場のポンプ類等の維持管理にコストがかかっています。				<input checked="" type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない					<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	評価点	一次評価					二次評価							
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
	今後の方向性	3	4	1	2	B	3	4	1	2	B			
		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等				
	当面の課題	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止					
		柿原東地区は、真空方式で汚水を処理場まで送っているために機器類が複雑で維持管理にコストがかかっています。また、機器類が老朽化しており随時更新が必要になります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	老朽化した機器類を保守点検で長持ちさせるとともに、大きな故障が発生する前に機器類を更新します。					特殊なポンプを使用したため、維持管理に負担がかかっていますが、維持補修に努めてください。BODの数値が高いとのことですが、早期に原因究明し改善してください。								
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	8	—	23	基本事務事業名	農業集落排水事業施設管理・運営事務	事務事業名	一条西・柿原東地区農業集落排水使用料徴収事務	公的関与	3	シート作成日	平成27年6月30日		
	部局名	市民部			課名	環境衛生課		主務課長名	林 英司		シート作成者名	尾崎 啓蔵		
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(3) 下水道の整備				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 17 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
		主要施策		(3) 下水道施設の適正管理				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		農業集落排水施設設置及び管理に関する条例		
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		農業集落排水施設利用者										
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	農業集落排水施設使用料の収納率100%を目指します。									
				今年度	使用料滞納者に対して督促、徴収を行い未収納額を減らします。									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 口座振替の普及を促進します。													
	② 督促状、催告書による通知で納付を促すとともに、各戸に訪問し徴収率の向上に努めます。													
	③													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標				
	農業集落排水施設利用者		農業集落排水施設使用料 収納率(現年度)		%	目標	100	100	100	100				
						実績	97.4	97.8						
	農業集落排水施設利用者		農業集落排水施設使用料 収納率(過年度)		%	目標	100	100						
						実績	17.3	12.2						
						目標								
					実績									
DO	予算費目	会 計	農業集落排水事業特別会計				款		項		目			
			平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金		千円	千円	千円								
		県支出金		千円	千円	千円								
		地方債		千円	千円	千円								
		その他特定財源		千円	千円	千円								
		一般財源		千円	千円	千円								
		計(A)		0 千円	0 千円	0 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.200 人	1,176 千円	0.200 人	1,155 千円	0.200 人	1,162 千円						
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
全体事業費(A+B)			1,176 千円	1,155 千円	1,162 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価		
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	施設の管理運営費に分担金と使用料を充てているため、使用料を徴収することは必要です。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい							
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある							
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない		<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない							
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない							
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	口座振替を推奨しており、現在9割以上の方が口座振替で使用料を支払っているため、収納率95%以上を保っています。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる							
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる							
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない							
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる							
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	現年度は、収納率が上がり目標に近づいています。過年度については、高額滞納者が多いので個別に対応策を考えています。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている									
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない									
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している									
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している									
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	個別訪問徴収だけでは効率的に徴収できないので、施設の使用制限等の方法を用いて、収納率を向上させたいと考えています。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当							
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない							
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない							
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない							
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性 3	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 3	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等				
	当面の課題	少額滞納者に対しては、督促状や催告書等による通知で納めてもらえますが、高額滞納者に対しては、個別に対応策を講じる必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
	改革案と実行計画	あまりにも滞納額が高額あるいは悪質な滞納者に対しては、施設使用の制限をかける等の方法を考える必要があります。また、マンション等の賃貸物件については、共益費として管理会社に使用料を徴収してもらうようお願いしていきます。					滞納繰り越し分への収納率の向上が図られています。債権管理条例が施行され、不納欠損への対応は特に慎重お願いします。支払督促も検討されたい。							
	委員会指摘事項													